



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話(53)3033 番
(53)3034 番
編集兼 前川 哲也
発行人
半年間1,200円 送料共

裁判公判日程
大災害裁判公判 六月二十七日
午前十時から福岡地裁。前
回に引き続き、会社側弁護団に
よる反対尋問の予定。
九・二八 坑内火災裁判公

判 七月三日午後一時十分から福
岡地裁で。吉田曜子院長に対す
る、会社側弁護士による反対尋
問予定。
もともと五月二十一日の予定だ
ったのが、裁判所の都合で右のよ
うに変更されたもの。

立場から石炭政策を見直し、国内
唯一のエネルギー資源である石炭
——特に国内炭の三千万トン以上
の需要体制を柱に、明確な位置づ
けをすること。
(2) 将来にわたって、国内炭の安定
供給をめざす新鉱開発・再開発を
積極的にすすめること。
(3) 国内炭の優先活用の原則にも
とづき法的措置を講じ、海外炭の
輸入については政府機関が一括購
入、国内炭とともにあくまでエネ
ルギー供給の安全保障の立場から
販売を行うための機構を設置する
こと。
(4) 国内炭の安定供給は政府が責
任を負うべきで、当面石炭特別会
計制度を堅持し、生産費を償い、
再生産を可能にする炭価決定ルー
ルを確立すること。

——また夜明けの要結だろうと
思っていたが、その通りだった。
——三百一十円くらいのこと
で妥結するほどなら、最初からスト
ライキなどいわずともよかった
ろう。
——一方、せめて四百七十円と
いう要求の満額獲得を、とほりき
っていたのがっかりだ。
——大牟田市内の病院に働いて
いる准看護婦が月給十八万円。そ
れに比べるとお話にならない。三池
炭鉱の賃金は、中小企業以上に低
い。
——ボーナスを取らないと、生
活保護家庭の保障より四万円〜五
万円は低い。
——港務所で働く二部「港務作
業関係」の者だけに、港務年金が
出るようになったが、これはかえ
って働く者同志の間に感情的な
溝をつくることにもなりかねず、
矛盾をはなだしい。

国の唯一のエネルギー(石)を守れ

石特委に対策を要請

炭労など労働三団体が

炭労は全炭鉱・全職協と意気統一、このほど衆議院労働団体としての重要な政策要求を提出した。

衆議院石炭対策特別委員会(岡
田利春委員長。衆議院議員を中心
に構成)は、四月二十四日その議
員懇談会を開き、今後の石炭政策
について、関係三労働組合(日本
炭鉱労働組合、全国石炭鉱業労働
組合、全国炭鉱職員労働組合協
会)の代表(森田久雄炭労委員長
、岡新一全炭鉱委員長、鈴木照
長、岡新一全炭鉱委員長、鈴木照

要請の内容
要請事項内容は、ほぼ次の通り
である。
(1) エネルギー供給の安全保障の
ため、国内唯一のエネルギー
——資源である国内炭の需要・生産
体制の確立など、具体的な要請事
項を明らかにし、石特委(石炭対
策特別委員会)の各委員に尽力・
支援を要請した。

炭鉱労働者が「今年は……」と
期待した春闘は、またしても期待
はずれで終わった。一方平均三三三
十円という低賃金上げは、はたし
て職場にどう受け入れられたか。
次はおもに、低賃金の抗外職場
から寄せられた声である。
×
——近々参議院議員選挙がある
というのか、早く春闘を終わらせ
うとする姿勢が目につき、初めか
ら闘う意欲が感じられなかった。

防衛庁が有事法草案 NHKが重大な報道

【連合】防
衛庁が「有
事」の際の自
衛隊の軍事行
動に際し、
「有事」法制
草案をまとめ
たことが明ら
かとなった。
これはNH
Kテレビが五
月六日夜報道
したもので、防
衛庁は七十七
年夏以降、防衛
庁長官の指示で公然と「有事体
制」をつくりあげる法整備を研究
してきた。NHKの報道による
と、今回の草案は防衛庁の幹部会
議でまとめたもので、総理大臣が
自衛隊に防衛出動を命令する前
に、防衛庁長官が自分の判断で長
間の建物や土地を収用したり、特
別部隊を組み移動させることがで
きるよう、現行自衛隊法の大改悪
を検討しているという。
草案は当面の検討項目として、
①総理大臣が防衛出動を命令する
前にとらえる措置、②必要な物資
の収用や土地の使用、などを盛り
込んでいるという。また、①現在
約四万人の予備自衛官を出動命令
前に招集できる、②自衛隊の警務
官(旧軍の憲兵)が民間人も規制
できる、などが含まれているとい
われ、極めて重大だ。

メーデーを 讃える詩

ツクシもワラビも顔出した
ふじの花も手を出した
小鳥が呼んでる笹林の森
新芽の息ふき若葉の香り
明日は八十八夜茶の香り
みんな集まれ
みんな集まれ
みんな集まれ輪になって
心寄せ合う仲間仲間
胸はときめきふくらむ思い
しあわせ願ってメーデーへ
会場を埋めた若者白シャツ姿
白いズックがまぶしくて

日本列島は花ざかり

自由の火よ、 広がれ

五月一日ははるけらの祭日
春闘のまつたなかに
打ち上げ花火が
四方八方にとどろけば
あの赤旗の波のなから
しあわせ求める団結のうた

参院選で協力 労働四団体が

労働四団体(総評・同盟・中立
労連・新連別)は、目前にせまっ
た参議院議員選挙で自民独裁体制
を打ち破るため、協力体制を強め
ることをきめた。